

事務・事業評価書

		所 属	総務課企画財政グループ			作成者	毛利 晋輔					
事業コード	20103 -	事業名	市町村交流事業費			<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続					
		(細事業名)										
① まちづくり計画での位置付け	編	3. 人と文化を育むまち										
	章	2. 社会教育、文化、芸術の振興										
	節	2. 国際・地域間交流の推進										
	① まちづくり計画での位置付け	主要な施策・事業に記載の目的	<input checked="" type="checkbox"/> 記載あり <input type="checkbox"/> 記載なし									
			1. 友好都市川越市との交流 (1) 互いの文化や歴史を学ぶ貴重な体験機会として中学生の相互交流事業を実施します。 (2) 川越市と本村児童生徒の交換絵画展を開催します。 (3) 産業フェスタなど川越市との交流事業を継続するとともに、経済・文化面など各分野で村民主体による相互交流を促進します。 2. 南砺市福野地域との交流									
参考	村長公約での位置付け	番 号										
		細項目										
② まちづくり計画の「めざすべき目標(数値目標)」と進捗状況	項 目		現状値	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H29目標値				
	交流事業(川越市・南砺市)実施回数		5回	5回	5回	4回		7回				
③ 事業の概要	南砺市及び川越市との交流事業 南砺市→小学生の相互訪問体験交流(生き生き自然探検隊)の実施(予算は教育委員会) 川越市→川越市少年の翼 受入(中学3年生対象) 中学生相互交流事業(中学1年生対象。H20川越から受入開始、H21村から派遣開始) 産業博覧会での特産品の販売(H15～) 絵画交流(小中学生絵画団体)											
④ 事業の内容	事業内容			H26実績	H27実績	H28実績						
	少年の翼受け入れ時の郷土芸能謝礼(ポロシリ太鼓)、歓迎会			139千円	138千円	0千円						
	かわごえ産業フェスタでの特産品販売及びその他交流(旅費)			235千円	240千円	138千円						
	かわごえ産業フェスタでの特産品販売(出店者等への旅費等の補助)			262千円	337千円	291千円						
	中学生交流事業(体験事業講師謝礼)			248千円	254千円	278千円						
	中学生交流事業(借上料、食事材料代等)			200千円	192千円	151千円						
	この事業の決算額等			決算額	1,081千円	1,161千円	858千円					
				うち一般財源等	1,081千円	1,161千円	858千円					
				国・道補助	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (国 / 、道 /)							
⑤ まちづくり計画の数値目標等で表せない事業成果												
⑥ 事業の評価	コスト		効果と目的達成度		住民要請・要望度		緊急度・必要性		改善点		先見性・将来性	
		10 低い		10 高い		10 高い	○	10 高い		5 全くない	○	10 高い
	○	7 やや低い	○	7 やや高い	○	7 やや高い		7 やや高い	○	3 少ない		7 やや高い
		4 やや高い		4 やや低い		4 やや低い		4 やや低い		1 多い		4 やや低い
		1 高い		1 低い		1 低い		1 低い				1 低い
										合計	44	
⑦ 住民や民間との役割分担	<input type="checkbox"/> 行政が行わなければならない <input checked="" type="checkbox"/> 行政が行うべきだが、住民や民間で対応が可能 <input type="checkbox"/> 住民や民間が行ったほうが効果的 <input type="checkbox"/> 既に住民主体で実施又は民間委託済み			左の理由		友好都市との交流は、民間レベルまでには至っていないことから、現段階では行政が主体となって推進していく必要がある。						

■前年度(平成27年度事業)の評価結果

<p>⑧ 前年度の課題・問題点と改善の方向</p>	<p>《課題・問題点》 ■川越市との交流 中学生受入事業では、実施時期が農繁期と重なることや、受け入れを積極的に希望する戸数が減少していることからファームステイ受け入れ先の確保に苦慮した。事業終了後に担当課打合せや関係団体との協議を行い、ファームステイの今後のあり方について見直した結果、現状のままでは受け入れできなくなる可能性もあることから、農村部だけでなく、市街地まで対象を広げることとした。</p> <p>《改善の方向》 今年度も、住民や事業者と協力しながら、相互交流のきっかけづくり・環境づくりを進める。 ■川越市との交流 中学生受入事業の民泊を農家に限定せず、市街地まで対象を拡大して実施する。メニュー等については、中学生や引率の反応を見ながら今後のメニューに反映させていくこととする。</p>
---------------------------	---

■平成28年度 of 取組みと課題・問題点に対する方向性

<p>⑨ 平成28年度 of 取組み</p>	<p>■川越市との交流 民泊の受入体制について、検討の結果、対象を市街地の家庭まで含めて実施した。また、これまでは受入事業と派遣事業については、別の事業として考えていたが、原則として民泊を受入れた家庭の生徒が、派遣に参加するという整理のもと実施した。</p> <p>産業フェスタについては、2事業者に参加いただいた。会場が駅前近くの施設に変更されたこともあり、来場者が伸びたことで、完売する商品もあった。</p>
<p>⑩ 課題・問題点</p>	<p>■川越市との交流 民泊については、市街地まで対象を拡大したが確保に苦慮した。事業終了後、川越市側と今後の民泊の方向性について協議したが、生徒同士が交流する時間は必要であるとの結論から、29年度も現状の体制のまま、民泊を継続することとなった。</p>
<p>⑪ 今後の取組み・方向性</p>	<p>■川越市との交流 引き続き、交流に携わる学校や事業者等と連携しながら、相互交流のきっかけづくりを進める。</p> <p>地方創生事業の一環として、川越市の百貨店内にアンテナショップを開設し、村の農畜産物を使った商品の販路拡大や、村のPRを行う。</p>

■評価(村長評価・村民評価・最終評価)

<p>⑫ 村長ヒアリングによる評価結果</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <p>・アンテナショップの催事については関係機関と連携し、PRすること。</p>
<p>⑬ 村民評価(総合行政推進委員会)による意見</p>	
<p>⑭ 評価の最終結果(新年度予算の方向)</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>

事務・事業評価書

		所属	総務課企画財政グループ	作成者	毛利 晋輔										
事業コード	20205 -	事業名	企画一般経費			<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続									
		(細事業名)	生活交通確保対策												
① まちづくり計画での位置付け	編	5. 自然豊かで快適に暮らせるまち													
	章	2. 安心して暮らせる生活基盤													
	節	2. 交通機関と情報基盤の整備													
		<input checked="" type="checkbox"/> 記載あり <input type="checkbox"/> 記載なし 1. 交通機関の確保 (1)生活バス路線の維持 地域住民の唯一の交通機関である生活バス路線の維持 (2)保有する村有バスの有効活用、地域住民の交通の利便性向上のため、運行車両や効率的な運行方法のあり方について検討(デマンドバス、コミュニティバスの導入等)													
参考	村長公約での位置付け	番号	2	健やかにみんなで支えあう福祉の村づくりを進めます											
		細項目	②	買い物、通院など生活の足確保対策											
② まちづくり計画の「めざすべき目標(数値目標)」と進捗状況	項	目	現状値	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H29目標値							
	乗合バスの年間利用者(年間)		2,003人	1,145人	1,455人	764人		2,100人							
	路線バス利用促進のための広報活動(年間)		年1回	年1回	年0回	年1回		年2回							
	公共交通機関の利用に関する村民の満足度		50%	-	-	-		70%							
③ 事業の概要	・中札内バス待合所の維持管理 ・中札内～上札内間の乗合バスの運行(朝と夕方の2往復) ※平成28年8月で終了 ・コミュニティバス(市街地循環・農村部)の運行 ※平成28年9月から開始 ・十勝バス広尾線への補助 ・路線バスの利用促進(広報・ホームページでの住民周知)														
④ 事業の内容	事業内容			H26実績	H27実績	H28実績									
	中札内バス待合所の維持管理(修繕費、保険料)			421千円	15千円	4千円									
	乗合タクシー(中札内～上札内間)の運行補助			3,630千円	4,392千円	2,210千円									
	コミュニティバス運行委託料			-	-	4,018千円									
	バス路線(広尾線)への補助金(赤字補填)			3,877千円	3,721千円	4,347千円									
	この事業の決算額等			決算額	7,928千円	8,128千円	10,579千円								
			うち一般財源等	7,928千円	8,128千円	10,579千円									
			国・道補助	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (国 / 、道 /)											
⑤ まちづくり計画の数値目標等で表せない事業成果															
⑥ 事業の評価	コスト		効果と目的達成度		住民要請・要望度		緊急度・必要性		改善点		先見性・将来性				
	10	低い	○	10	高い	○	10	高い	○	5	全くない	○	10	高い	
	7	やや低い		7	やや高い		7	やや高い		3	少ない		7	やや高い	
	○	4	やや高い		4	やや低い		4	やや低い	○	1	多い		4	やや低い
		1	高い		1	低い		1	低い					1	低い
											合計	45			
⑦ 住民や民間との役割分担	<input type="checkbox"/> 行政が行わなければならない <input type="checkbox"/> 行政が行うべきだが、住民や民間で対応が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 住民や民間が行ったほうが効果的 <input type="checkbox"/> 既に住民主体で実施又は民間委託済み			左の理由		中札内～上札内区間については、民間事業者による運行を行っている。									

■前年度(平成27年度事業)の評価結果

⑧ 前年度の課題・問題点と改善の方向	<p>《課題・問題点》</p> <p>■公共交通 平成28年度のコミュニティバス運行開始に向け、関係団体とルートや運行時間について協議する必要がある。また、広報やホームページでの周知によって、利用促進を図る。</p> <p>■十勝バス(広尾線) 沿線の高校通学の利便性が向上したこと等によって、前年度より負担額は減ったが、今後も南十勝全体で対策の協議が必要である。</p> <p>《改善の方向》</p> <p>■公共交通 コミュニティバスの車両導入を取り進めるほか、利用率が高いと予測される老人クラブ等の団体に出向き、ルートや運行時間についての意見を吸い上げる。また、10月からの運行に向けて、広報やホームページ、個別相談等によって利用促進を図り、誰もが利用しやすいバスを目指す。</p> <p>■十勝バス(広尾線) 沿線町村と協議しながら利用促進策の検討を行う。</p>
--------------------	--

■平成28年度の取組みと課題・問題点に対する方向性

⑨ 平成28年度の取組み	<p>■公共交通(コミュニティバス) 10月からの運行開始に向けて、車両のデザイン案や愛称の募集を実施した。デザイン案については、中学校の美術部に依頼し、愛称については公募によって決定した。また、老人クラブでの説明や意見聴取を行い、ルートや運行時間を検討したほか、運行開始後もポロシリ大学での説明・PRを行った。 運行開始後から寄せられた意見については、2月までに取りまとめと調整を行い、平成29年4月からのルート変更にも反映させている。</p> <p>■十勝バス(広尾線) 十勝バスの給油施設の更新等によって負担金額は増加した。また、国の補助金カットの話題が度々出ているため、今後も動向を注視する必要がある。</p>
⑩ 課題・問題点	<p>■公共交通(コミュニティバス) 時刻表がわかりづらいという声があり、利用したいができないという層が一定数いると考えられる。また、これまでは高齢者を中心にPRを行ってきたが、小さな子どもがいる世代の利用なども視野に入れ、老人クラブ以外の幅広い年代にPRが必要である。</p> <p>■十勝バス(広尾線) 利用者減によって沿線町村の負担額が増加することが予想される。また、国の補助率の見直しも検討されており、更なる負担増の可能性はある。</p>
⑪ 今後の取組み・方向性	<p>■公共交通(コミュニティバス) 老人クラブ等と連携しながら試乗説明会を行い、個人ごとに合った利用方法を説明する機会を設ける。また、子育てサークル等の集まりに出向き、利用する世代の幅を広げる。そのほか、広報やホームページでのPRも引き続き実施していく。</p> <p>■十勝バス(広尾線) これまで南十勝の協議会では、利用を促進することで負担額を抑制するという方向であったが、減便も視野に入れながら今後の対応を検討する。</p>

■評価(村長評価・村民評価・最終評価)

⑫ 村長ヒアリングによる評価結果	<p><input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <p>・どのようなニーズがあるか調査し、総合的な交通対策について検討すること。 ・総合行政推進委員会において、広尾線負担金の説明をすること。</p>
⑬ 村民評価(総合行政推進委員会)による意見	
⑭ 評価の最終結果(新年度予算の方向)	<p><input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>

事務・事業評価書

		所 属	総務課企画財政グループ			作成者	岡林 あさひ					
事業コード	20213 -	事業名	地域情報化推進費			<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続						
		(細事業名)										
① まちづくり計画での位置付け	編	1. みんなで歩む協働のまち										
	章	1. 住民主体のまちづくり										
	節	1. 住民参加と活力あるまちづくり										
	主要な施策・事業に記載の目的	<input checked="" type="checkbox"/> 記載あり <input type="checkbox"/> 記載なし 1. 協働によるまちづくり (3) 共通の認識に立ったまちづくりを推進するため、誰もが分かりやすい内容で迅速かつ的確な情報の提供に努めます。 (7) 広報紙やホームページで提供する情報は、広報モニターなどの意見を取り入れながら、わかりやすく親しみやすい内容をめざします。										
参考	村長公約での位置付け	番 号	1	あなたが主役の村政を進めます								
		細項目	②	情報共有の推進								
② まちづくり計画の「めざすべき目標(数値目標)」と進捗状況	項 目	現状値	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H29目標値					
	ホームページへのアクセス数	17万件	5.3万人	5.2万人	5.4万人		20万件					
	メール配信登録者数	302人	426人	485人	499人		450人					
③ 事業の概要	ホームページ作成システム(各担当課で作成できるシステム)やメール配信システム及び機器の導入、運用、保守を行う											
④ 事業の内容	事業内容				H26実績	H27実績	H28実績					
	情報発信システム・機器保守委託				869千円	869千円	869千円					
	情報発信サイト制作委託				162千円	162千円	162千円					
	情報発信サイト修正委託						314千円					
	この事業の決算額等				決算額	1,031千円	1,031千円	1,345千円				
					うち一般財源等	1,031千円	1,031千円	1,345千円				
国・道補助					<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (国 / 、道 /)							
⑤ まちづくり計画の数値目標等で表せない事業成果												
⑥ 事業の評価	コスト		効果と目的達成度		住民要請・要望度		緊急度・必要性		改善点		先見性・将来性	
		10 低い	○	10 高い	○	10 高い	○	10 高い		5 全くない	○	10 高い
	○	7 やや低い		7 やや高い		7 やや高い		7 やや高い	○	3 少ない		7 やや高い
		4 やや高い		4 やや低い		4 やや低い		4 やや低い		1 多い		4 やや低い
		1 高い		1 低い		1 低い		1 低い				1 低い
											合計	50
⑦ 住民や民間との役割分担	<input type="checkbox"/> 行政が行わなければならない <input checked="" type="checkbox"/> 行政が行うべきだが、住民や民間で対応が可能 <input type="checkbox"/> 住民や民間が行ったほうが効果的 <input type="checkbox"/> 既に住民主体で実施又は民間委託済み				左の理由	村が行っている各種事業、施策を積極的に公開、発信し情報の共有化を図るため、行政が行わなければならない。しかし、サーバーの管理及びホームページの管理や更新は民間でも対応は可能。						

■前年度(平成27年度事業)の評価結果

<p>⑧ 前年度の課題・問題点と改善の方向</p>	<p>《課題・問題点》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■メール配信サービス 引き続き、メール配信サービスについて住民へ周知していく。 ■ホームページ 平成27年度に実施した広報モニターなどのアンケートにより、ホームページの見にくいところを改善する。また、ホームページの階層や情報量に各課でばらつきがあるので、職員の意識づけや技術向上によりタイムリーな情報発信が必要。 <p>《改善の方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■メール配信サービス 継続して、メール配信サービスについて広報紙を通じて住民への周知を図る ■ホームページ 平成27年度のアンケート等をもとに、ホームページのレイアウト等の変更を行うとともに、職員の技術向上のためのホームページ操作説明会の開催を行う。また、各課でばらつきのある情報や階層を整理するため、ホームページの作成のルール作りを行う。
---------------------------	--

■平成28年度の取組みと課題・問題点に対する方向性

<p>⑨ 平成28年度の取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■メール配信サービス 広く住民にメール配信サービスについて周知を図るため、広報紙でメール配信サービスについて掲載した。 ■ホームページ 各課でばらつきのある情報や階層を整理するため、HP導入業者の担当者と打ち合わせを行い、内容の検討をした。階層を変更しない方が分かりやすいもの(住民税に関する情報、行政に関する情報)についてはそのままとし、階層を整理できるものについては整理を行った。
<p>⑩ 課題・問題点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■メール配信サービス 引き続き、メール配信サービスについて住民へ周知していく。 ■ホームページ 引き続き、ホームページの掲載頻度など各課でばらつきのある事柄を調整していかなければならない。
<p>⑪ 今後の取組み・方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■メール配信サービス システム更新に合わせて、利用方法の周知を行い、利用促進を図る。 ■ホームページ 現在のホームページ作成システムを導入して4年目となることから、新しいホームページ作成システムの導入を検討し、掲載情報の整理や階層整理などを同時に行うことを検討する。SNS(ソーシャルネットワークサービス)の活用検討や、村長ページの作成を行う。

■評価(村長評価・村民評価・最終評価)

<p>⑫ 村長ヒアリングによる評価結果</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <p>・ホームページを見やすくする工夫が必要。リニューアルする場合には全面的な修正を検討すること。</p>
<p>⑬ 村民評価(総合行政推進委員会)による意見</p>	
<p>⑭ 評価の最終結果(新年度予算の方向)</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>

様式1

事務・事業評価書

		所属	総務課企画財政グループ		作成者	岡林 あさひ						
事業コード	20206 -	事業名	広報作成費			<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続					
		(細事業名)										
① まちづくり計画での位置付け	編	1. みんなで歩む協働のまち										
	章	1. 住民主体のまちづくり										
	節	1. 住民参加と活力あるまちづくり										
	主要な施策・事業に記載の目的	<input checked="" type="checkbox"/> 記載あり <input type="checkbox"/> 記載なし 1. 協働によるまちづくり (3) 共通の認識に立ったまちづくりを推進するため、誰もが分かりやすい内容で迅速かつ確かな情報の提供に努めます。 (7) 広報紙やホームページで提供する情報は、広報モニターなどの意見を取り入れながら、わかりやすく親しみやすい内容をめざします。										
参考	村長公約での位置付け	番号	1	あなたが主役の村政を進めます								
		細項目	②	情報共有の推進								
② まちづくり計画の「めざすべき目標(数値目標)」と進捗状況	項	目	現状値	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H29目標値				
③ 事業の概要	「広報なかさつない」の発行 ・月1回発行(毎月1日) ・2,100部作成 ・配布先 村内住民 1,650部 養護学校 150部 村内外企業及び村外個人 150部											
④ 事業の内容	事業内容			H26実績	H27実績	H28実績						
	広報印刷製本費			2,804千円	3,069千円	3,055千円						
	修繕費(カメラ等修理)			千円								
	広報モニター謝礼			18千円	25千円	25千円						
	村勢要覧業務委託			千円								
	記録映像DVD作成業務			581千円								
	この事業の決算額等			決算額	3,403千円	3,094千円	3,080千円					
うち一般財源等				3,403千円	3,094千円	3,080千円						
国・道補助				<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (国 / 、道 /)								
⑤ まちづくり計画の数値目標等で表せない事業成果	広報モニターの活用 ・アンケートを二ヶ月に1回実施 ・広報モニター会議を年2回(10月、4月)に実施 読みやすい、読んでみたい広報作りのため、村民の顔を多く掲載することを心がけている。											
⑥ 事業の評価	コスト		効果と目的達成度		住民要請・要望度		緊急度・必要性		改善点		先見性・将来性	
		10 低い	○ 10 高い	○ 10 高い	○ 10 高い	○ 10 高い	○ 10 高い	○ 10 高い	5 全くない	○ 10 高い	○ 10 高い	○ 10 高い
	○	7 やや低い	7 やや高い	7 やや高い	7 やや高い	7 やや高い	7 やや高い	7 やや高い	○ 3 少ない	7 やや高い	7 やや高い	7 やや高い
		4 やや高い	4 やや低い	4 やや低い	4 やや低い	4 やや低い	4 やや低い	4 やや低い	1 多い	4 やや低い	4 やや低い	4 やや低い
		1 高い	1 低い	1 低い	1 低い	1 低い	1 低い	1 低い		1 低い	1 低い	1 低い
										合計	50	
⑦ 住民や民間との役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 行政が行わなければならない <input checked="" type="checkbox"/> 行政が行うべきだが、住民や民間で対応が可能 <input type="checkbox"/> 住民や民間が行ったほうが効果的 <input checked="" type="checkbox"/> 既に住民主体で実施又は民間委託済み			左の理由		行政情報の提供はこれからのむらづくりに重要であり、広報は行政が行うべきものである。しかし、タウン情報誌の様に民間が情報誌を作成し、その記事の一部として行政情報を提供、掲載してもらう方法もある。						

■前年度(平成27年度事業)の評価結果

⑧ 前年度の課題・問題点と改善の方向	<p>《課題・問題点》 平成21年から広報モニターを公募しているが、村民からの応募実績がない。 広報紙は、一部広報モニターからの意見をいただいているが、村からの一方的なお知らせになっており、村民全体の意見聴取が十分できていない。 近年、折込文書が増加傾向にあり、就労支援等での作業量が増大しつつあり、折込文書の一定のルールや制限が必要となっている。</p> <p>《改善の方向》 平成27年度に引き続き、モニターの年齢構成、性別をバランスのよい構成で4名のモニターから意見を聞き、より親しまれる広報になるよう、内容、レイアウト等を見やすく改善していく。 また、毎月折り込んでいる中中だよりなどの折込文書については、関係機関に呼びかけ、年数回としてもらうよう呼びかけていく。</p>
--------------------	---

■平成28年度の取組みと課題・問題点に対する方向性

⑨ 平成28年度の取組み	<p>広報モニターの意見をもとに、村の人の顔を多く掲載することを行った。 折込文書については、各課に事前に内容を確認し、広報に掲載できるものについては紙面で取り扱うように事前調整を行っている。また、関係機関の折込文書については、協力を呼びかけ、内容を整理してもらい、折込文書の枚数を減らしてもらっている。</p>
⑩ 課題・問題点	<p>平成21年から広報モニターを公募しているが、村民からの応募実績がない。 広報紙は、一部広報モニターからの意見をいただいているが、村からの一方的なお知らせになっており、村民全体の意見聴取が十分できていない。 折込文書については、毎月折込を行っている中中だよりについて、中学校へ年数回にしてもらうよう呼びかけを行ったが承諾していただけなかった。</p>
⑪ 今後の取組み・方向性	<p>平成28年度に引き続き、モニターの年齢構成、性別をバランスのよい構成で4名のモニターから意見を聞き、より親しまれる広報になるよう、内容、レイアウト等を見やすく改善していく。</p>

■評価(村長評価・村民評価・最終評価)

⑫ 村長ヒアリングによる評価結果	<p><input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>
⑬ 村民評価(総合行政推進委員会)による意見	
⑭ 評価の最終結果(新年度予算の方向)	<p><input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>

様式1

事務・事業評価書

事業コード		事業名		所属	総務課企画財政グループ	作成者	岡林 あさひ								
20207 -		防災無線管理費				<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続									
① まちづくり計画での位置付け		編	5. 自然豊かで快適に暮らせるまち												
		章	4. 安全な村民生活の確保												
		節	1. 防災・消防体制の充実												
		主要な施策・事業に記載の目的		<input checked="" type="checkbox"/> 記載あり <input type="checkbox"/> 記載なし											
				1. 防災体制の強化 (4)災害時における情報伝達手段を確保するため、防災メールの活用や防災行政無線のデジタル放送移行を進めます。											
参考		村長公約での位置付け		番号	5	生活の安全、安心づくりを進めます									
				細項目	①	災害に強いまちづくり									
② まちづくり計画の「めざすべき目標(数値目標)」と進捗状況		項 目			現状値	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H29目標値					
		戸別受信機の購入			250	960台	1,200台	1,200台		1,400台					
③ 事業の概要		農村情報防災行政無線を活用し、緊急災害時の通報などを行っているほか、一般行政情報や行事などの情報の提供も 行っている。 定時放送:1日2回(昼、夜)※土、日曜日除く 農協からの放送:1日1回(昼) 臨時放送:おくやみ放送、災害情報、防犯情報(不審者情報など)													
④ 事業の内容		事業内容				H26実績	H27実績	H28実績							
		防災無線保守点検委託				784千円	836千円	940千円							
		戸別受信機購入				30,585千円	15,293千円	15,293千円							
		情報無線修繕費(戸別受信機・アンテナ・バッテリー等)				123千円	261千円	0千円							
		防災無線更新工事				千円	0千円	0千円							
		受信機及びアンテナ設置委託、電波伝搬調査委託				37,103千円	3,926千円	2,145千円							
		この事業の決算額等				決算額		68,595千円	20,316千円	18,378千円					
						うち一般財源等		14,183千円	15,683千円	18,378千円					
						国・道補助		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (国 / 、道 /)							
⑤ まちづくり計画の数値目標等で表せない事業成果															
⑥ 事業の評価		コスト		効果と目的達成度		住民要請・要望度		緊急度・必要性		改善点		先見性・将来性			
		10	低い	○	10	高い	○	10	高い	5	全くない	10	高い		
		7	やや低い		7	やや高い		7	やや高い	○	3	少ない	○	7	やや高い
		4	やや高い		4	やや低い		4	やや低い		1	多い		4	やや低い
		○	1	高い		1	低い		1	低い				1	低い
												合計	38		
⑦ 住民や民間との役割分担		<input type="checkbox"/> 行政が行わなければならない <input checked="" type="checkbox"/> 行政が行うべきだが、住民や民間で対応が可能 <input type="checkbox"/> 住民や民間が行ったほうが効果的 <input type="checkbox"/> 既に住民主体で実施又は民間委託済み				左の理由		防災情報や災害時の緊急情報については、行政が情報発信を行わなければならないものと考えられる。しかし、一般の行政情報については、民間で放送を発信し、その内容を村が提供するという方法もある。							

■前年度(平成27年度事業)の評価結果

<p>⑧ 前年度の課題・問題点と改善の方向</p>	<p>《課題・問題点》 平成29年までの長期計画に基づき計画的に戸別受信機・屋外放送施設等の整備を行うが、コスト面の負担が大きい。</p> <p>《改善の方向》 戸別受信機の導入計画に基づき、240台購入する(北1区、南1区、2区、3区、4区)</p>
---------------------------	--

■平成28年度の取組みと課題・問題点に対する方向性

<p>⑨ 平成28年度の取組み</p>	<p>戸別受信機を240台(北1区、南1区、2区、3区、4区)購入し、デジタル化に向け更新を図っている。</p>
<p>⑩ 課題・問題点</p>	<p>平成29年までの長期計画に基づき計画的に戸別受信機・屋外放送施設等の整備を行うが、コスト面の負担が大きい。また、市街地で電波状況が悪い住宅がある。</p>
<p>⑪ 今後の取組み・方向性</p>	<p>戸別受信機の導入計画に基づき、240台購入する(4区1部、5区、泉区、ときわ野第3次分譲・第4次分譲)電波状況が悪い住宅等に対し、家電製品と一緒にコンセントを使っている場合などは処置を行ってもらうよう、広報で呼びかける。</p>

■評価(村長評価・村民評価・最終評価)

<p>⑫ 村長ヒアリングによる評価結果</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>
<p>⑬ 村民評価(総合行政推進委員会)による意見</p>	
<p>⑭ 評価の最終結果(新年度予算の方向)</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>

事務・事業評価書

		所属	総務課企画財政グループ			作成者	岡林 あさひ					
事業コード	20208 -	事業名	コミュニティ活動費			<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続						
		(細事業名)										
① まちづくり計画での位置付け	編	1. みんなで歩む協働のまち										
	章	1. 住民主体のまちづくり										
	節	1. 住民参加と活力あるまちづくり										
	主要な施策・事業に記載の目的	<input checked="" type="checkbox"/> 記載あり <input type="checkbox"/> 記載なし 2. 自主的な住民活動の支援 (1) 行政区活動の活性化や自律のための助長に努めます。 (2) 各種まちづくり団体などのコミュニティの育成と支援に努めます。 (3) 村民の主体的な活動を支えるため、利用しやすい支援制度の創設に努めます。										
参考	村長公約での位置付け	番号	1			あなたが主役の村政を進めます						
		細項目	①			村民とともに歩む協働のまちづくり						
② まちづくり計画の「めざすべき目標(数値目標)」と進捗状況	項 目		現状値	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H29目標値				
③ 事業の概要	・行政区活動への支援 ◎基本額 40,000円 ◎世帯数割 市街地区 650円 市街地区以外の地区 1,000円 ◎施設割 12,000円 ◎特別活動(他の助成を受けているものについては対象としない) ①学習・実践活動 ①「協働の体制づくり」をテーマとした環境美化事業や安全安心な地域づくり事業 ②福祉・教育支援活動(1事業に対して10,000円を補助し、各区分の限度額は20,000円とする。ただし、行政区内の親睦会やスポーツ大会などレクリエーション活動は対象としない)③高齢者向け活動(基本額20,000円、65歳以上の高齢者数×300円)④自主防災組織推進活動(購入経費10割以内、限度額:世帯数×3,000円)⑤その他、特に必要と認める活動 ※刈払機購入費用に対する助成(平成22年度～平成25年度まで) ・村おこし懇談会など広聴活動の実施											
④ 事業の内容	事業内容				H26実績	H27実績	H28実績					
	市街行政区連合協議会補助金				19千円	19千円	20千円					
	行政区交付金				3,579千円	3,658千円	3,694千円					
	地域集会施設等補助金				千円	330千円	0千円					
					千円							
					千円							
この事業の決算額等				決算額		3,598千円	4,007円	3,714千円				
				うち一般財源等		3,598千円	4,007千円	3,714千円				
				国・道補助		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (国 / 、道 /)						
⑤ まちづくり計画の数値目標等で表せない事業成果	■特別活動交付金交付行政区 ・H28実績 21行政区 ■村おこし懇談会実施回数 ・H28実績 4回(31名参加)											
⑥ 事業の評価	コスト		効果と目的達成度		住民要請・要望度		緊急度・必要性		改善点		先見性・将来性	
		10 低い		10 高い	○	10 高い	○	10 高い		5 全くない	○	10 高い
	○	7 やや低い	○	7 やや高い		7 やや高い		7 やや高い	○	3 少ない		7 やや高い
		4 やや高い		4 やや低い		4 やや低い		4 やや低い		1 多い		4 やや低い
		1 高い		1 低い		1 低い		1 低い				1 低い
											合計	47
⑦ 住民や民間との役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 行政が行わなければならない <input type="checkbox"/> 行政が行うべきだが、住民や民間で対応が可能 <input type="checkbox"/> 住民や民間が行ったほうが効果的 <input type="checkbox"/> 既に住民主体で実施又は民間委託済み				左の理由		行政区のより一層の活動推進を図るためには、引き続き行政の支援が必要である。					

■前年度(平成27年度事業)の評価結果

⑧ 前年度の課題・問題点と改善の方向	<p>《課題・問題点》 村おこし懇談会を村からの呼びかけにより実施している。より住民に関心をもって貰うため、広報紙や情報無線を利用したPRが必要である。</p> <p>《改善の方向》 積極的なPRを行い、村から施策方針などを発信し、行政区へ開催を呼びかける。</p>
--------------------	---

■平成28年度 of 取組みと課題・問題点に対する方向性

⑨ 平成28年度 of 取組み	<p>・村おこし懇談会は住民に親しみや関心を持ってもらえるように「まちづくりトーク」と名称を変え、取組みを行った。また、広報紙や行政区長会議において開催の呼びかけを行った。</p>
⑩ 課題・問題点	<p>まちづくりトークを村からの呼びかけにより実施している。継続して、広報紙や情報無線を利用したPRが必要である。</p>
⑪ 今後の取組み・方向性	<p>積極的なPRを行い、村から施策方針などを発信し、行政区へ開催を呼びかける。</p>

■評価(村長評価・村民評価・最終評価)

⑫ 村長ヒアリングによる評価結果	<p><input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <p>・庁舎移転等のテーマで実施すること。</p>
⑬ 村民評価(総合行政推進委員会)による意見	
⑭ 評価の最終結果(新年度予算の方向)	<p><input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>

事務・事業評価書

		所属	総務課企画財政グループ	作成者	金沢 愛							
事業コード	20210 - 1	事業名	まちづくり推進費									
		(細事業名)	男女共同参画推進									
				<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続							
① まちづくり計画での位置付け	編	1. みんなで歩む協働のまち										
	章	3. 男女共同参画の推進										
	節	1. 男女共同参画のまちづくり										
	① まちづくり計画での位置付け 主要な施策・事業に記載の目的		<input checked="" type="checkbox"/> 記載あり <input type="checkbox"/> 記載なし (1)中札内村男女共同参画推進計画に基づく男女平等参画社会の実現に向けた取り組み推進 (2)男女共同参画推進委員会による現状分析、必要な措置の検討、働きかけを実施 (3)講演会や研修会などを通じた職場、学校、地域社会などあらゆる分野での意識啓発 (4)庁内における啓発と推進計画の進捗管理、庁内推進体制の充実 (5)子育て支援、介護支援の充実による男女がともに働きやすい環境の整備 (6)政策策定過程への女性の参画機会の拡大や人材育成、各種委員会等への女性登用の推進 (7)セクシャルハラスメント、DVの防止と保護のための啓発活動、北海道など関係機関との連携による相談支援体制の充実									
参考	村長公約での位置付け	番号	1	あなたが主役の村政を進めます								
		細項目	④	男女共同参画社会の実現に向けた取り組み								
② まちづくり計画の「めざすべき目標(数値目標)」と進捗状況	項目		現状値	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H29目標値				
	村の各種委員への女性登用率		30.2%	25.7%	28.4%	30.2%		35%				
	講演会等を通じた啓発活動		年1回	年1回 (85人/回)	年1回 (65人/回)	年1回 (75人/回)		年2回 (100人/回)				
③ 事業の概要	中札内村男女共同参画推進計画に基づいて各種施策を実行し、男女共同参画意識の普及・啓発を行う ・広報、HP等を利用した啓発活動 ・男女共同参画に関する川柳の募集、図書館コーナーの設置、講演会の開催 ・男女共同参画推進委員会による推進計画の推進											
④ 事業の内容	事業内容			H26実績	H27実績	H28実績						
	男女共同参画村民講演会の開催			371千円	106千円	293千円						
	男女共同参画推進委員会の開催(報償費)			181千円	401千円	190千円						
	標語及び川柳 受賞者記念品(図書カード)			40千円	35千円	25千円						
	研修への参加			126千円	18千円	0千円						
	図書館の男女共同参画コーナー			千円	205千円	6千円						
	この事業の決算額等			決算額	718千円	765千円	514千円					
			うち一般財源等	718千円	765千円	514千円						
			国・道補助	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (国 / 、道 /)								
⑤ まちづくり計画の数値目標等で表せない事業成果												
⑥ 事業の評価	コスト		効果と目的達成度		住民要請・要望度		緊急度・必要性		改善点		先見性・将来性	
	○	10 低い	○	10 高い	○	10 高い	○	10 高い	5	全くない	○	10 高い
		7 やや低い	○	7 やや高い	○	7 やや高い	○	7 やや高い	○	3 少ない	○	7 やや高い
		4 やや高い		4 やや低い		4 やや低い		4 やや低い	1	多い		4 やや低い
		1 高い		1 低い		1 低い		1 低い				1 低い
										合計	41	
⑦ 住民や民間との役割分担	<input type="checkbox"/> 行政が行わなければならない <input checked="" type="checkbox"/> 行政が行うべきだが、住民や民間で対応が可能 <input type="checkbox"/> 住民や民間が行ったほうが効果的 <input type="checkbox"/> 既に住民主体で実施又は民間委託済み			左の理由		計画に定める具体的な施策の推進は行政が主体的に取り組むべきだが、講演会やセミナー等は民間が行うことも可能。						

■前年度(平成27年度事業)の評価結果

<p>⑧ 前年度の課題・問題点と改善の方向</p>	<p>《課題・問題点》 計画に定めていながら実行できていない施策について、進めていく必要がある。 また、より多くの住民に対する効果的な啓発に取り組んでいかなければならない。</p> <p>《改善の方向》 これまで行ってきた川柳の募集以外に、新たな啓発方法を検討する。</p>
---------------------------	--

■平成28年度の取組みと課題・問題点に対する方向性

<p>⑨ 平成28年度の取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・村内の事業者へ女性の活躍推進セミナーの案内を送付し、村が男女共同参画を推進している旨を通知した。 ・図書館の男女共同参画コーナーに、男女共同参画に関する啓発チラシやセミナー案内等を毎月掲示した。 ・中学3年生に情報モラルに関するパンフレットを配布した。
<p>⑩ 課題・問題点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・村の取組についてより広く知ってもらうための広報活動が必要。
<p>⑪ 今後の取組み・方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・村の広報や図書館コーナー、HP、講演会等を通じて啓発活動を引き続き推進する。 ・村内の事業者を巻き込んだ取組を検討する。 ・男女共同参画に関してより深く学習する機会として、小学生は絵本の読み聞かせ、中学生は作文コンクールを実施する。(川柳の募集は終了)

■評価(村長評価・村民評価・最終評価)

<p>⑫ 村長ヒアリングによる評価結果</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>
<p>⑬ 村民評価(総合行政推進委員会)による意見</p>	
<p>⑭ 評価の最終結果(新年度予算の方向)</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>

事務・事業評価書

		所属	総務課企画財政グループ			作成者	毛利 晋輔					
事業コード	20210 - 2	事業名	まちづくり推進費			<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続					
		(細事業名)	景観づくり事業									
① まちづくり計画での位置付け	編	5. 自然豊かで快適に暮らせるまち										
	章	3. 住みよい環境づくり										
	節	1. 自然環境の保全と景観形成										
主要な施策・事業に記載の目的		<input checked="" type="checkbox"/> 記載あり <input type="checkbox"/> 記載なし		2. 景観の形成 (1) 農地、山林などの緑の保全と公共施設、公共用地や民有地などの身近な緑の保全と育成に努めます。 (2) 景観条例を具体的に推進する総合的指針に基づいた景観づくりを推進します。 (3) 村民、企業などの積極的な景観形成への取組に対する支援の充実を図ります。 (4) 屋外広告物設置者への理解活動に努めながら、一定のルールの下、支援制度を充実し広告物の撤去、統一看板の設置を推進します。								
参考	村長公約での位置付け	番号	5	生活の安全、安心づくりを進めます								
		細項目	⑥	美しい農村景観を守り育てる取り組み								
② まちづくり計画の「めざすべき目標(数値目標)」と進捗状況	項 目			現状値	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H29目標値			
	自然環境・景観に対する満足度(累計)			79%	—	—	—		85%			
	野立看板の撤去基数(累計)			—	—	—	—		10基			
③ 事業の概要	過去からまちづくり推進委員会を設置し、景観づくりに関して、住民への啓発方法や、屋外広告物の在り方などについて検討を行ってきた。											
④ 事業の内容	事業内容				H26実績	H27実績	H28実績					
	屋外広告物撤去・看板製作				千円	千円	千円					
	屋外広告物撤去解体工事				千円	千円	千円					
	道路敷地復元測量委託				千円	千円	千円					
	景観まちづくり委員会報償				123千円	167千円	148千円					
	景観アドバイザー謝礼、旅費				515千円	585千円	575千円					
	この事業の決算額等				決算額		638千円	752千円	723千円			
うち一般財源等					638千円	752千円	723千円					
国・道補助					<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (国 / 、道 /)							
⑤ まちづくり計画の数値目標等で表せない事業成果												
⑥ 事業の評価	コスト		効果と目的達成度		住民要請・要望度		緊急度・必要性		改善点	先見性・将来性		
		10 低い		10 高い		10 高い		10 高い		5 全くない	○ 10 高い	
	○	7 やや低い	○	7 やや高い		7 やや高い	○	7 やや高い		3 少ない		7 やや高い
		4 やや高い		4 やや低い	○	4 やや低い		4 やや低い	○	1 多い		4 やや低い
		1 高い		1 低い		1 低い		1 低い				1 低い
											合計	36
⑦ 住民や民間との役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 行政が行わなければならない <input type="checkbox"/> 行政が行うべきだが、住民や民間で対応が可能 <input type="checkbox"/> 住民や民間が行ったほうが効果的 <input type="checkbox"/> 既に住民主体で実施又は民間委託済み				左の理由		景観形成は住民との協働で行っていくことが必要ではあるが、住民の意識向上を図る上では当面行政が主導して推進していく必要がある。					

■前年度(平成27年度事業)の評価結果

⑧ 前年度の課題・問題点と改善の方向	<p>《課題・問題点》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■景観づくり・中札内ルール 農業団体や自営業者等の団体と景観懇談会を設け、景観委員会の取り組みを知ってもらう等の取り組みが必要。 ■日本で最も美しい村連合 連合の活動を周知するほか、加盟後のPR等も検討する必要がある。 ■啓発活動 風景公募企画は応募数が少ないため、景観懇談会の際に聞き取りを行う等、積極的に集めていくことが必要。 <p>《改善の方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■景観・中札内ルール 引き続き、景観懇談会等の場を設け、ルールづくりに向けて意見交換を進める。 ■日本で最も美しい村連合 現地審査に向けた準備を進めるほか、加盟後のPRの取り組みを検討。 ■啓発活動 これまでの取り組みを継続するほか、新規事業として「景観ツアー」を実施。委員だけではなく、ボランティアメンバーにも参加してもらうことで、住民活動の幅を広げていく。
--------------------	---

■平成28年度の取組みと課題・問題点に対する方向性

⑨ 平成28年度の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ■景観づくり・中札内ルール グリーンツーリズムと懇談会を行い、村内の景観をテーマに意見交換を行った。 ■日本で最も美しい村連合 6月に、「防風林に守られた農村原風景」と「北の大地を彩るアートと文化」を地域資源として現地審査が行われ、10月の総会で正式に加盟が決定した。広報では加盟前と後に1回ずつ特集記事を掲載し、幅広くPRした。 ■啓発活動 風景公募や小学生の景観学習のほか、新たな取組として村内の景観スポットを巡るツアーを実施した。景観委員のほかにボランティアによるスタッフが検討段階から参加し、住民活動の活性化につながった。当日は28名が参加し、有志のガイドによる説明を受けながら、村の景観について学んだ。
⑩ 課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ■景観づくり・中札内ルール より多くの団体等と意見交換をする機会を設けることが必要。 ■日本で最も美しい村連合 連合の活動等について理解が深まっていないため、住民向けに連合の活動等を周知していくことが必要。 ■啓発活動 景観ツアーについては、住民の自主的な取組として確立させることが必要。
⑪ 今後の取組み・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■景観づくり・中札内ルール 景観に対し好意的な団体との懇談が続いたが、防風林等の資源が生活と関わる団体(農業団体等)との意見交換を行う。 ■日本で最も美しい村連合 連合による様々な媒体でのPRを行うほか、北海道の加盟町村と連携しながら、スタンプラリーや各種催事を実施する。また、住民向けに連合の活動内容等を広報で周知していく。 ■啓発活動 住民による自主的な活動を促すため、ツアーを実行委員会体制にして実施する。

■評価(村長評価・村民評価・最終評価)

⑫ 村長ヒアリングによる評価結果	<p><input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <p>・美しい村連合HP等を活用しPRすること。</p>
⑬ 村民評価(総合行政推進委員会)による意見	
⑭ 評価の最終結果(新年度予算の方向)	<p><input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>

事務・事業評価書

事業コード		事業名		所属	総務課企画財政グループ	作成者	金沢 愛								
20210 - 3		まちづくり推進費 (細事業名) ふるさとづくり事業				<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続									
① まちづくり計画での位置付け	編	1. みんなで歩む協働のまち													
	章	1. 住民主体のまちづくり													
	節	1. 住民参加と活力あるまちづくり													
	主要な施策・事業に記載の目的	<input checked="" type="checkbox"/> 記載あり <input type="checkbox"/> 記載なし 2. 自主的な住民活動の支援 (1) 行政区活動の活性化や自立のための助長に努めます。 (2) 各種まちづくり団体などのコミュニティの育成と支援に努めます。 (3) 村民の主体的な活動を支えるため、利用しやすい支援制度の創設に努めます。													
参考	村長公約での位置付け	番号	1	あなたが主役の村政を進めます											
		細項目	①	村民とともに歩む協働のまちづくり											
② まちづくり計画の「めざすべき目標(数値目標)」と進捗状況	項	目	現状値	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H29目標値							
	村民のまちづくり活動への参画機会の拡充満足度			57%	-	-	-		65%						
③ 事業の概要	「ふるさと活性化基金」を財源とし、次のような取組に対して経費の一部を助成している。 ・むらおこし事業(イベント) ・講習、講演会開催事業 ・イメージアップ推進事業(ピータンマーク活用推進) ・環境整備、景観形成事業 ・まちづくり提案事業 ・人材育成事業														
④ 事業の内容	事業内容				H26実績	H27実績	H28実績								
	ふるさとづくり事業補助金				0千円	1898千円	200千円								
					千円	千円	千円								
					千円	千円	千円								
					千円	千円	千円								
					千円	千円	千円								
この事業の決算額等				決算額	0千円	1898千円	200千円								
				うち一般財源等	千円	1898千円	200千円								
				国・道補助	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	(国 / 、道 /)									
⑤ まちづくり計画の数値目標等で表せない事業成果	平成28年度補助実績 ・ファームサイン 1件														
⑥ 事業の評価	コスト		効果と目的達成度		住民要請・要望度		緊急度・必要性		改善点		先見性・将来性				
	10	低い	10	高い	10	高い	○	10	高い	5	全くない	○	10	高い	
	7	やや低い	○	7	やや高い	○	7	やや高い	○	3	少ない		7	やや高い	
	○	4	やや高い		4	やや低い		4	やや低い		1	多い		4	やや低い
		1	高い		1	低い		1	低い					1	低い
											合計	41			
⑦ 住民や民間との役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 行政が行わなければならない <input type="checkbox"/> 行政が行うべきだが、住民や民間で対応が可能 <input type="checkbox"/> 住民や民間が行ったほうが効果的 <input type="checkbox"/> 既に住民主体で実施又は民間委託済み				左の理由		住民の自主的な取り組みを促す補助制度であり、行政が誘導する必要がある。								

■前年度(平成27年度事業)の評価結果

⑧ 前年度の課題・問題点と改善の方向	<p>《課題・問題点》 補助実績が少ない事業に関しては、引き続き現状と合ったものに修正していく必要がある。</p> <p>《改善の方向》 環境整備・景観形成事業について、より多くのケースに対応し、申請がしやすいものに内規を改定する。</p>
--------------------	--

■平成28年度の取組みと課題・問題点に対する方向性

⑨ 平成28年度の取組み	<p>・行政区長会議で説明を行い、利用を促進した。</p>
⑩ 課題・問題点	<p>・ファームサイン以外の利用が少ない。 ・制度の内容が現状の要望に合っていない。</p>
⑪ 今後の取組み・方向性	<p>・制度の周知に努めるとともに、制度の利用ができそうな活動を行っている団体がある場合は声かけを行う。 ・制度全体の内容見直し。</p>

■評価(村長評価・村民評価・最終評価)

⑫ 村長ヒアリングによる評価結果	<p><input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>
⑬ 村民評価(総合行政推進委員会)による意見	
⑭ 評価の最終結果(新年度予算の方向)	<p><input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>

事務・事業評価書

		所属	総務課企画財政グループ			作成者	岡林 あさひ								
事業コード	20210 - 4	事業名	まちづくり推進費			<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続									
		(細事業名)	情報宅配便・地域担当制												
① まちづくり計画での位置付け	編	1. みんなで歩む協働のまち													
	章	1. 住民主体のまちづくり													
	節	1. 住民参加と活力あるまちづくり													
	主要な施策・事業に記載の目的	<input checked="" type="checkbox"/> 記載あり <input type="checkbox"/> 記載なし 3. 地域を担う人づくり (1)自治やまちづくりに関心を高めてもらい、自らが地域の担い手となっていただくため情報宅配便など各種制度の啓発活動や誰もが参加しやすい研修会やまちづくり塾等を開催し、地域の担い手づくりに努めます。													
参考	村長公約での位置付け	番号	1			あなたが主役の村政を進めます									
		細項目	①			村民とともに歩む協働のまちづくり									
② まちづくり計画の「めざすべき目標(数値目標)」と進捗状況	項目		現状値	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H29目標値							
③ 事業の概要	情報宅配便:個人・団体等が主催する講演会、講習会に村職員が講師になり、情報を提供する制度。地域担当制:各行政区を担当する村職員が、行政区からの要請により総会・役員会・各種行事に参加し、交流を深めながら、村民と行政をつなぐパイプ役となり情報の共有を進める制度														
④ 事業の内容	事業内容				H26実績	H27実績	H28実績								
	情報宅配便				10講座	10講座	11講座								
	地域担当制				19行政区	18行政区	18行政区								
					千円										
					千円										
					千円										
この事業の決算額等				決算額		千円									
				うち一般財源等		千円									
				国・道補助		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (国 / 、道 /)									
⑤ まちづくり計画の数値目標等で表せない事業成果	■情報宅配便 村職員が講師となり、行政の仕組みや制度を伝えるとともに、住民から意見等を聞き取る重要な機会となっている。 ■地域担当制 村職員が住民と行政をつなぐパイプ役となり情報の共有を図る貴重な機会となっている。														
⑥ 事業の評価	コスト		効果と目的達成度		住民要請・要望度		緊急度・必要性		改善点		先見性・将来性				
	○	10	低い	○	10	高い	○	10	高い	5	全くない	○	10	高い	
		7	やや低い	○	7	やや高い	○	7	やや高い	3	少ない		7	やや高い	
		4	やや高い		4	やや低い		4	やや低い	○	1	多い		4	やや低い
		1	高い		1	低い		1	低い					1	低い
											合計	45			
⑦ 住民や民間との役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 行政が行わなければならない <input type="checkbox"/> 行政が行うべきだが、住民や民間で対応が可能 <input type="checkbox"/> 住民や民間が行ったほうが効果的 <input type="checkbox"/> 既に住民主体で実施又は民間委託済み				左の理由		情報宅配便、地域担当制によって、職員自らが積極的に出向き、行政情報を提供したり、意見交換や地域の課題等を話し合うことは、行政が行わなければならないことである。								

■前年度(平成27年度事業)の評価結果

⑧ 前年度の課題・問題点と改善の方向	<課題・問題点> ■地域担当制 要請行政区の固定化 ■情報宅配便 依頼者の固定化、申込み件数が少ない <改善の方向> ■地域担当制 行政区長会議や広報紙等で積極的なPRを行う。 ■情報宅配便 行政区長会議や広報、各種団体へ出向いて積極的なPRを行う。
--------------------	--

■平成28年度の取組みと課題・問題点に対する方向性

⑨ 平成28年度の取組み	■地域担当制 行政区長会議や広報紙、行政区に対する回覧などを通じて積極的なPRを行っている。 職員の担当地区を複数にし、要請があった場合には最低2名以上参加するようにしている。 行政区からの質問事項等への対応方法の改善のため、平成28年度から重点予算について、概要資料を配布している。 ■情報宅配便 行政区長会議や広報紙において、積極的なPRを行っている。
⑩ 課題・問題点	■地域担当制 要請行政区の固定化 ■情報宅配便 依頼者の固定化
⑪ 今後の取組み・方向性	■地域担当制 行政区長会議や広報紙等で積極的なPRを行う。 ■情報宅配便 行政区長会議や広報、各種団体へ出向いて積極的なPRを行う。

■評価(村長評価・村民評価・最終評価)

⑫ 村長ヒアリングによる評価結果	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
⑬ 村民評価(総合行政推進委員会)による意見	
⑭ 評価の最終結果(新年度予算の方向)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止・廃止

事務・事業評価書

		所 属	総務課企画財政グループ			作成者	毛利 晋輔								
事業コード	20210 - 4	事業名	まちづくり推進費				<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続								
		(細事業名)	小規模起業支援事業補助金												
① まちづくり計画での位置付け	編	4. 活力あふれる産業を育むまち													
	章	3. 商工業の振興													
	節	1. 活気あふれる商工業の推進													
① まちづくり計画での位置付け		主要な施策・事業に記載の目的		<input checked="" type="checkbox"/> 記載あり <input type="checkbox"/> 記載なし 2. 地域商工業の育成 (4) 村民や事業所による小規模起業を支援します。											
参考	村長公約での位置付け	番号	3	産業の振興による地域経済の活性化を進めます											
		細項目	⑥	村民、事業所などの小規模業の支援											
② まちづくり計画の「めざすべき目標(数値目標)」と進捗状況	項 目		現状値	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H29目標値							
	記載なし														
③ 事業の概要	農畜産物の加工・製造、販売を行うための起業に要する経費を助成することによって、農畜産物の高付加価値化や地域経済の活性化を図る。 新規起業 3,000千円 新分野進出 2,000千円														
④ 事業の内容	事業内容				H26実績	H27実績	H28実績								
	小規模起業補助金				3,000千円	5,000千円	1,805千円								
					千円	千円	千円								
					千円	千円	千円								
					千円	千円	千円								
					千円	千円	千円								
この事業の決算額等				決算額		3,000千円	5,000千円	1,805千円							
				うち一般財源等		0千円	2,000千円	1,805千円							
				国・道補助		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (国 10/10、道 /)									
⑤ まちづくり計画の数値目標等で表せない事業成果	補助実績 平成26年度 新規起業1件 平成27年度 新規起業1件、新分野進出1件 平成28年度 新分野進出1件														
⑥ 事業の評価	コスト		効果と目的達成度		住民要請・要望度		緊急度・必要性		改善点		先見性・将来性				
	10	低い	10	高い	10	高い	10	高い	5	全くない	○	10	高い		
	7	やや低い	○	7	やや高い	○	7	やや高い	○	3	少ない		7	やや高い	
	○	4	やや高い		4	やや低い		4	やや低い		1	多い		4	やや低い
		1	高い		1	低い		1	低い					1	低い
											合計	38			
⑦ 住民や民間との役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 行政が行わなければならない <input type="checkbox"/> 行政が行うべきだが、住民や民間で対応が可能 <input type="checkbox"/> 住民や民間が行ったほうが効果的 <input type="checkbox"/> 既に住民主体で実施又は民間委託済み				左の理由		住民の自主的な取り組みを促す補助制度であり、行政が誘導する必要がある。								

■前年度(平成27年度事業)の評価結果

<p>⑧ 前年度の課題・問題点と改善の方向</p>	
---------------------------	--

■平成28年度の取組みと課題・問題点に対する方向性

<p>⑨ 平成28年度の取組み</p>	<p>新分野に進出する事業者から1件申請があり、審査委員会の結果、認定となった。 その他に2件の事前相談を受けたが、現在まで保留中である。</p> <p>前年度以前に認定した事業者については、かわごえ産業フェスタへの出品や、ふるさと納税の返礼品に商品を提供するなど、村の事業と連携しながら販路拡大やPRにつとめている。</p>
<p>⑩ 課題・問題点</p>	<p>起業したい事業者が本制度を活用できるようPRが必要。 また、補助金交付後、5年間は活動報告を義務付けているが、経営困難な状態になった場合の対応については、規則に明記されていないため、検討が必要。</p>
<p>⑪ 今後の取組み・方向性</p>	<p>引き続き、本制度を活用して起業したいと考える事業者を支援する。 また、起業支援だけでなく、友好都市・川越市のアンテナショップへの出品や、催事などに参加してもらうことにより、首都圏に向けた販路拡大等もサポートする。 また、助成内容についても事業者のニーズを検証し、改正が必要か検討を行う。</p>

■評価(村長評価・村民評価・最終評価)

<p>⑫ 村長ヒアリングによる評価結果</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <p>・導入事例を踏まえたPRを検討すること。</p>
<p>⑬ 村民評価(総合行政推進委員会)による意見</p>	
<p>⑭ 評価の最終結果(新年度予算の方向)</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>

事務・事業評価書

		所属	総務課企画財政グループ			作成者	金沢 愛								
事業コード	20210 - 6	事業名	まちづくり推進費				<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続							
		(細事業名)	情報提供・共有(むらづくり研修会)												
① まちづくり計画での位置付け	編	1. みんなで歩む協働のまち													
	章	1. 住民主体のまちづくり													
	節	1. 住民参加と活力あるまちづくり													
	主要な施策・事業に記載の目的	<input checked="" type="checkbox"/> 記載あり <input type="checkbox"/> 記載なし 1. 協働によるまちづくり (3) 共通の認識に立ったまちづくりを推進するため、誰もが分かりやすい内容で迅速かつ的確な情報の提供に努めます。													
参考	村長公約での位置付け	番号	1	あなたが主役の村政を進めます											
		細項目	②	情報共有の推進											
② まちづくり計画の「めざすべき目標(数値目標)」と進捗状況	項	目	現状値	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H29目標値							
③ 事業の概要	村民に対する村の各種施策についての説明や、施策に対する意見交換を目的として、平成18年度から村でテーマを選定し、開催している。近年は外部講師を招いて実施している。														
	・H26年度 ”食”からはじまるまちづくり～天皇の料理番が語る食の大切さ～ 農業生産法人フルタイムファーム会長 高橋 恒雄 氏														
	・H27年度 夢はきっとかなう 有限会社ファーム花茶取締役 小栗 美恵 氏 ※食育サポーター養成講座を兼ねる														
	・H28年度 心が輝く魔法の言葉 歌と朗読劇でコンサートのようなひとときを 声優、ナレーター、歌手 佐久間 レイ 氏														
④ 事業の内容	事業内容				H26実績	H27実績	H28実績								
	むらづくり研修会				1回	男女共同参画推進講演会を兼ねて開催	男女共同参画推進講演会を兼ねて開催								
	講師謝礼				120千円		講師謝礼								
					千円	94千円									
					千円	293千円									
					千円										
この事業の決算額等				決算額	120千円	94千円	293千円								
				うち一般財源等	120千円	94千円	293千円								
				国・道補助	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (国 / 、道 /)										
⑤ まちづくり計画の数値目標等で表せない事業成果	聴講者の数 H26年度 45名、H27年度 65名、H28年度 77人														
	聴講者のアンケート結果「とても良かった」と回答した割合 H26年度 93.8%、H27年度 87.8%、H28年度 92.7%														
⑥ 事業の評価	コスト		効果と目的達成度		住民要請・要望度		緊急度・必要性		改善点		先見性・将来性				
	○	10	低い	10	高い	10	高い	10	高い	5	全くない	10	高い		
		7	やや低い	7	やや高い	7	やや高い	○	7	やや高い	3	少ない	○	7	やや高い
		4	やや高い	○	4	やや低い	○	4	やや低い	○	1	多い		4	やや低い
		1	高い		1	低い		1	低い					1	低い
												合計	33		
⑦ 住民や民間との役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 行政が行わなければならない <input type="checkbox"/> 行政が行うべきだが、住民や民間で対応が可能 <input type="checkbox"/> 住民や民間が行ったほうが効果的 <input type="checkbox"/> 既に住民主体で実施又は民間委託済み				左の理由		住民への情報提供と意見交換を行うため行政が実施している。								

■前年度(平成27年度事業)の評価結果

⑧ 前年度の課題・問題点と改善の方向	<p>《課題・問題点》 引き続き、興味を引くテーマ、講師の選定に努めなければならない。</p> <p>《改善の方向》 今後も、男女共同参画推進講演会を兼ねて開催する。 講演テーマについては、近年注目されている話題や村の重要施策とリンクした内容を選定できるように、普段から情報収集を行う。</p>
--------------------	---

■平成28年度 of 取組みと課題・問題点に対する方向性

⑨ 平成28年度の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・前回のアンケート結果では働くことや育児に関することについての要望が多かったため、仕事と育児を両立している女性を講師に選定した。 ・子どもから大人まで楽しめるように歌や朗読も交えた内容とした。
⑩ 課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・講師の選定や講演会の周知について、引き続き工夫が必要。
⑪ 今後の取組み・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も男女共同参画推進講演会を兼ねて開催する。 ・村内の事業者への案内を強化する。

■評価(村長評価・村民評価・最終評価)

⑫ 村長ヒアリングによる評価結果	<p><input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>
⑬ 村民評価(総合行政推進委員会)による意見	
⑭ 評価の最終結果(新年度予算の方向)	<p><input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>

事務・事業評価書

		所 属	総務課企画財政グループ			作成者	黒澤 菜々美								
事業コード	20211 -	事業名	ふるさと会・地域交流事業費			<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続									
		(細事業名)													
① まちづくり計画での位置付け	編	1. みんなで歩む協働のまち													
	章	1. 住民主体のまちづくり													
	節	1. 住民参加と活力あるまちづくり													
	主要な施策・事業に記載の目的	<input type="checkbox"/> 記載あり <input checked="" type="checkbox"/> 記載なし 帯広・札幌・東京周辺に在住する中札内村出身者及びゆかりのある方との相互交流を行い、村の応援団として活動していただくことを目的とする。													
参考	村長公約での位置付け	番 号													
		細項目													
② まちづくり計画の「めざすべき目標(数値目標)」と進捗状況	項 目	現状値	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H29目標値								
③ 事業の概要	・ふるさと会総会・交流会への参加、ふるさと通信の発行 ・ふるさと会運営に対する支援(補助金) ・HP等を通じたふるさと会の宣伝 ・各種PRと協力依頼(イベント、移住・定住、ふるさと納税等)														
④ 事業の内容	事業内容				H26実績	H27実績	H28実績								
	ふるさと会参加旅費				160千円	163千円	105千円								
	交流会食糧費(乾杯用ワイン)				19千円	19千円	19千円								
	札幌会補助金				180千円	180千円	180千円								
	東京会補助金				270千円	270千円	270千円								
	帯広会補助金				180千円	180千円	180千円								
	この事業の決算額等				決算額		810千円	812千円	754千円						
うち一般財源等					810千円	812千円	754千円								
国・道補助					<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (国 / 、道 /)										
⑤ まちづくり計画の数値目標等で表せない事業成果	・平成28年度会員数 札幌・・・243名、東京・・・230名、帯広・・・75名 ・ふるさと納税(総数) H25・・・14件、H26・・・62件、H27・・・269件、H28・・・1, 209件														
⑥ 事業の評価	コスト		効果と目的達成度		住民要請・要望度		緊急度・必要性		改善点		先見性・将来性				
	10	低い	10	高い	10	高い	10	高い	5	全くない	10	高い			
	○	7	やや低い	○	7	やや高い	○	7	やや高い	○	3	少ない	○	7	やや高い
		4	やや高い		4	やや低い	○	4	やや低い		1	多い		4	やや低い
		1	高い		1	低い		1	低い					1	低い
											合計	35			
⑦ 住民や民間との役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 行政が行わなければならない <input type="checkbox"/> 行政が行うべきだが、住民や民間で対応が可能 <input type="checkbox"/> 住民や民間が行ったほうが効果的 <input type="checkbox"/> 既に住民主体で実施又は民間委託済み				左の理由		ふるさと中札内村の出身者は村の大切な応援団であり、ふるさと納税や村のPRなどにご協力いただいているため、村が主体となって支援しなければならない。								

■前年度(平成27年度事業)の評価結果

⑧ 前年度の課題・問題点と改善の方向	<p>《課題・問題点》 引き続き、新規会員の獲得と総会・交流会など、行事への参加率向上のために取り組む。 平成27年度 総会・交流会への参加人数 札幌・・・51名、東京・・・44名、帯広・・・36名</p> <p>《改善の方向》 ホームページ、広報、新聞(民間)などに記事を掲載する際には会員を募集していることをアピールする。 村内にふるさと会のPRポスターを掲示する。</p>
--------------------	---

■平成28年度の取組みと課題・問題点に対する方向性

⑨ 平成28年度の取組み	ふるさと会のPRポスターを村内に掲示した。
⑩ 課題・問題点	引き続き、新規会員の獲得と総会・交流会など、行事への参加率向上に向けた取組を行う。 平成28年度 総会・交流会への参加人数 札幌・・・45名、東京・・・45名、帯広・・・43名
⑪ 今後の取組み・方向性	ホームページ、広報、新聞(民間)などに記事を掲載する際には会員を募集していることをアピールする。 村内にふるさと会のPRポスターを掲示する。 開村70周年を記念し、各ふるさと会への村民参加事業を行う。

■評価(村長評価・村民評価・最終評価)

⑫ 村長ヒアリングによる評価結果	<p><input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <p>・ふるさと納税のポータルサイトの複数化について検討すること。</p>
⑬ 村民評価(総合行政推進委員会)による意見	
⑭ 評価の最終結果(新年度予算の方向)	<p><input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>